

13.ノンステップバス購入の補助対象経費の算定（処置済）

国土交通本省

4億2237万円（指摘金額）

事業の概要

- ✓ ノンステップバスの普及促進のため、ノンステップバスを購入するバス事業者等に対して、**本体価格（車両本体、車載機器類等の価格）と通常車両価格（ワンステップバスの平均価格。国土交通省が調査）との差額の2分の1を補助金として交付（1両当たりの補助限度額140万円）**
- ✓ **補助対象経費はバスの購入価格のうち、本体価格。特別仕様価格（追加される特別仕様等の価格）は補助対象外**
- ✓ **バスを購入する際、希望小売価格等から本体価格と特別仕様価格の一方又は両方に値引きを受けることが一般的**

検査の結果

- ✓ 65補助事業者が購入したノンステップバス1,436両（補助金交付額18億4721万円）を検査
- ✓ 本体価格の平均値引率(13.3%)と比べて、**特別仕様価格の平均値引率(83.1%)の方が高い**
- ✓ **同じ型式で値引前及び値引後の価格がほぼ同額であるのに、本体価格及び特別仕様価格それぞれに対する値引額が異なるために、補助金額に差が生じている事例も見受けられた**
- ✓ **特別仕様価格から高い割合で値引かれることにより、本体価格の値引率が低くなり、限度額140万円の交付を受けている車両が多くなっている可能性があると思料**
- ✓ 補助金額上限の140万円の交付を受けている1,134両について、特別仕様価格に対する値引額を本体価格に対する値引額に加えて補助対象経費を算定しても補助金額が140万円を維持するグループ(405両)と140万円から減少するグループ(729両)に分け値引きの状況を分析
 - ▶ **減少するグループは、維持するグループに比べ、特別仕様価格からの値引率が高く(平均で88.5%対45.7%)、本体価格からの値引率が低い(9.0%対17.9%)**
- ✓ **本体価格の値引きの仕方によって補助対象経費が増減し、補助金額もそれに伴って増減する事態は、ノンステップバスの購入価格と通常車両価格との差額に応じた補助金を交付するという事業の趣旨に照らして不適切**

当局の処置

- ✓ 国土交通省は、令和2年9月に交付要綱等を改正して、毎年度、車両本体の値引額の実態調査を行って**基準となる値引率を決定し、それを下回る車両は、同値引率を用いる**など補助対象経費の算定方法を要綱等に定め、その**内容を周知**するなど処置

13.ノンステップバス購入の補助対象経費の算定（処置済）

国土交通本省

4億2237万円（指摘金額）

《ノンステップバス》

床面の地上面からの高さがおおむね30cm以下のバス



写真出典 東北運輸局ホームページ

《補助金額の算定方法》

$$(\text{補助対象経費} - \text{通常車両価格}) \times 1 / 2 = \text{補助金額}$$

値引後の本体価格(車両本体、車載機器類等の価格)

段差のあるワンステップバスの平均価格(国土交通省調査)

車体の塗色、シート材質等の特別仕様等の価格は補助対象外



限度額
140万円

《検査の結果》

65補助事業者 1,436両を対象

- ✓ 本体価格の平均値引率(13.3%)と比べて**特別仕様価格の平均値引率(83.1%)の方が高い**
- ✓ **補助金額140万円の車両(1,134両)**は、補助金額140万円未満の車両(302両)と比べて本体価格の平均値引率は低くなっているのに対し、特別仕様価格の平均値引率が高い

		車両A (万円)	車両B (万円)
本体価格（値引前）	(a)	2514	2515
本体価格に対する値引額（値引率）	(b)	△228 (9.1%)	△486 (19.3%)
値引後の本体価格（＝補助対象経費）	(c = a + b)	2286	2029
特別仕様価格（値引前）	(d)	295	290
特別仕様価格に対する値引額（値引率）	(e)	△293 (99.3%)	△29 (10.0%)
購入価格（値引後）	(c + d + e)	2288	2290
補助対象経費と通常車両価格の差額の1/2	(f = (c - 1880万円) / 2)	203	74
補助金交付額	fと140万円のいずれか低い額	140	74

ほぼ同額のバスを購入しているのに、本体価格、特別仕様価格の値引額が異なるために、補助金額に差が発生

ほぼ同額

倍近い差

13.ノンステップバス購入の補助対象経費の算定（処置済）

国土交通本省

4億2237万円（指摘金額）

《本院の分析》

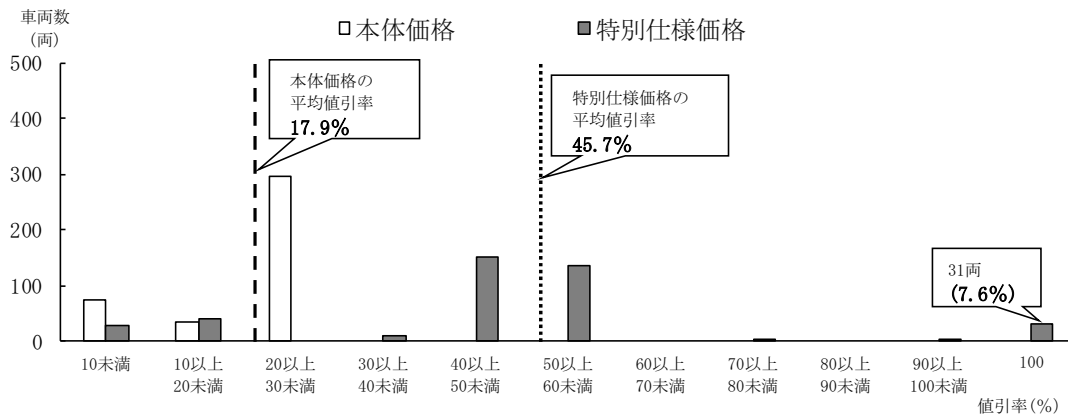
補助金額140万円の1,134両

✓ 特別仕様価格の値引額を本体価格の値引額に加え補助対象経費を試算

140万円を維持するグループ（405両）と減少するグループ（729両）に分けて分析すると・・・

▶ 減少するグループは特別仕様価格からの値引額が多く、本体価格からの値引額が少ないことから、補助金額140万円が交付されている車両が多い状況

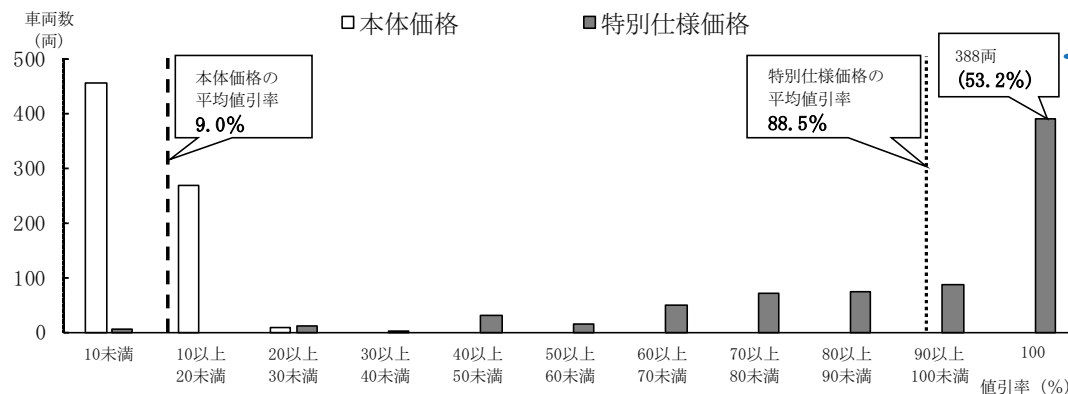
<維持グループ>



❗ 本体価格の値引きの仕方によって補助金額に差が生ずるのは、事業の趣旨に照らして不適切

ノンステップバスに係る国土交通省の値引状況調査（令和2年1月。補助事業の対象となっていないものも含む）による本体価格の平均値引率に基づき、1,436両の補助対象経費を修正計算したところ、国庫補助金の開差額は**4億2237万円**

<減少グループ>



388両（53.2%）が「値引率100%」に集中していて不自然

《当局の処置》

令和2年9月に交付要綱等を改正して、毎年度、車両本体の値引額の実態調査を行って**基準となる値引率を決定し、それを下回る車両は同値引率を用いることとした**